
大切な君へ

赤神 裕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大切な君へ

【Nコード】

N2815S

【作者名】

赤神 裕

【あらすじ】

君が僕に優しく接してくれたから。今の僕がここにいる。僕は話すのが苦手で泣き虫でどうしようもなくって……。でも君だけは僕に手を差し伸べてくれた。これって初恋なのかな？　そう言えば君ってどこかで……。

もう一つの僕と君との出会い。

大きく時間を遡って思い出すあの頃。

（前書き）

どうも、赤神裕です。今回は短いですが、意味ありげな逸品となっております。

それではどうぞ。

1 度目は転んで泣いた

2 度目はいじめられて泣いた

3 度目は話がわかってくれなくて泣いた

4 度目は…

だからもう泣くこともしゃべることもやめた

けど5 度目はなぜか涙が出る、なんでだろう
しゃべってる

一人でポツリポツリと何かをつぶやきながら鉛筆を手に何かを書く

泣くことをやめたはずなのに涙なんかもう出ないはずなのに

僕はなぜ泣いているの？

なにがこんなに悲しいの？

もうしゃべることをやめたはずなのに何を言っているの？

何を書いているの？

違うよ…

これは悲しくて泣いてるんじゃない

新しいものを見つけ嬉しくて泣いているんだ

違うよ…

僕はしゃべることをやめたんじゃない

しゃべることから逃げていたんだ

僕が見つけた初めての新しいもの

それは大切な君という存在

これって恋なのかなあ

僕は恋を知らなかった

恋って何？

何かを好きになる…

誰かを好きになる…

そういうこと…

でもそれだけではとても言い表せないもっと違う何か…

僕は初めて人を好きになった

初めて人を受け入れた

君が優しく接してくれたから

僕は生まれ変わった

そして今、君に伝えたいこと

「だいすき」

そう「大好き」っていう気持ち

君に、届け……。

（後書き）

いかがでしたか？ 設定としてはさほど年のいつていない小学校高学年〜中学生辺りですね。君と僕とのもう一つの出会いを描きました。

それではまたどこかでお会いしましょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2815s/>

大切な君へ

2011年10月8日16時09分発行